

パブコメ集計結果(きぼう)

1. 総数: 7件

2. 賛否について:

○賛成: 6件

○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの: 0件

○反対: 1件

計 7件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・ 宇宙空間の平和利用の研究開発は、夢のある科学技術推進の典型的なシンボリック事業であり、この分野が活性化していることによって、特に基礎科学方面へ自発的に進む人材を多く育成することになる。
- ・ 宇宙環境を利用した研究は、多くの知見を得ることができ、JEM にしか存在しない、実験装置も多く、人類の科学の発展に寄与することができる。また、世界中の研究者の利用が期待されており、世界に対する責任でもある。
- ・ 日本においても、「きぼう」を国立研究施設と位置づけて、国内の主要な研究機関・大学を巻き込んだ、全日本的な研究体制を構築し、この 7 月に完成した日本実験棟「きぼう」を有効に利用するための枠組みの構築に至急着手する必要があると考える。研究開発投資は国の将来への投資である。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・ なし

③反対

- ・ 莫大な費用を費やして宇宙プラットフォームから得られる成果はなんなのか。真剣に検討すべき。同じ成果を、もっと低コストでできないか。たとえば地球観測は人工衛星からの観測では代替できないのか。真に創薬・医療分野の発展に貢献するのか非常に疑わしい。国際的名誉以外の重要な成果があがらず、テレビコマーシャルの作成や科学啓蒙番組に使われるのが主な目的であれば、縮小すべき。